

平成 23 年度第 3 回花巻市健康づくり推進協議会 会議録

1 開催日時

平成 23 年 11 月 1 日（火）午後 1 時 30 分～午後 2 時 40 分

2 開催場所

花巻市南万丁目 970 番地 5

花巻保健センター 2 階 集団指導室

3 出席者

(1) 委員 17 名

高橋（康）委員（代）三浦副会長、江川委員、田名場委員、狩野委員、鎌田委員、佐藤（隆）委員、照井委員、似内委員、平賀委員、伊藤委員、高橋（照）委員、齊藤委員、坂本委員、菅原委員、八木委員、佐藤（勝）委員、佛川委員

(2) 市・事務局 14 名

出茂健康こども部長、上田健康づくり課長、阿部課長補佐、松田主任主査兼係長、佐藤（陽）主任主査兼係長、小森林主任主査兼係長、上野係長、城守副主幹兼係長、佐藤（永）主査、瀬川主査、久保田主査、及川上席主任、大迫保健福祉センター 押切主査、石鳥谷保健センター 伊藤主査

4 会議の概要

(1) 開会

上田健康づくり課長の進行により開会

(2) あいさつ

出茂健康こども部長

本日はお忙しいところ、出席いただきありがとうございます。10 月 3 日に保健福祉総合計画の策定委員会が開催されたところですが、保健福祉総合計画は、21 プランをはじめとして、地域福祉計画、障害福祉計画、高齢者計画等の他計画と連動しながらすすめていく予定である。

今日は、施策の方向、施策の柱、目標等の大きな要素のところ、また目指す姿、あるべき姿についても協議していただきたい。

(3) 協議 高橋（康）会長（代）三浦委員を議長とし進行

1) 花巻市保健福祉総合計画の素案について

上田健康づくり課長説明。本計画は、24 年度から 33 年度までの 10 年間の計画となり、5 年後に中間評価を行い見直しをする予定である。

基本理念と 4 つの具体的指標（10 年後の目標）について提案し、承認された。

質疑・意見は次のとおり

- ・ 似内委員・・・まちづくり市民アンケートの調査対象について聞きたい。
- 事務局・・・無作為抽出で毎年実施している調査である。

調査対象の半分は、次年度も継続して回答してもらい、市の施策の進行状況の確認等に使われている。

- ・狩野委員・・・目標値の設定の基準はあるのか。
事務局・・・市民アンケート調査や事業実績をもとに、達成できる見込みの数値をだした。現プランで達成できたものは、さらによい数値になるよう、達成できなかったものはひきつづき同じ数値目標にしたところもある。これについては、資料として提示したい。
- ・菅原委員・・・県のプラン、国のプランもあるが、その数値目標との整合性はあるのか。
事務局・・・県や国のプランとの方向性は確認しているが、数値目標自体は、花巻市独自のものである。
- ・齊藤委員・・・食事に気をつけている人の割合の目標値の52%というのは、不満である。食事は健康づくりの重要な要素であると思うので、もっと高い目標にして欲しい。花巻市がすすめている協働という部分がみえてこないの、そのスタンスも入れて欲しい。丈夫な体は理解できるが、豊かなところというのは数値ではあらわせないところである。自分自身が健康であると考えた人の割合、目標は75%であるが、残りの25%の人の精神的な部分を考慮するべきでは？
事務局・・・食事についての数値目標については、食育とあわせ整理していきたい。ここについては、健康であると考えたひとの割合は、100%が望ましいと思うが、75%の設定にしてその数値を上げていければいいと考える。数値目標については、検討していきたい。
- ・平賀委員・・・ボランティアで被災地に行き、高齢者に体操を教えたが、運動というのは体操も含まれるのか。
事務局・・・運動は、高齢者向けの介護予防的な運動、身体活動など広い範囲でとらえている。
- ・佐藤委員・・・プランは、朝ご飯を食べましょう・・・のような夢みたいな文句が並べてある。社会調査では、高卒の就職率46% 大卒の就職率も低く、20~30歳代で仕事がない、恋人もいない、結婚できない、家ももてないという状況がある。こういうことはどこにも書いていない。花巻中学校はかつて10クラスあったが、今は4クラスになり、そのうち1/3は母子家庭である。75歳以上の方に対して、行政区で敬老会を行っているが、2世帯に1人は75歳以上の高齢者がいる状況で、少子化がすすんでいる。10年先が見えない。今回の委員のなかでは一番の年寄りだから、時代遅れなのかもしれないが、プランは絵にかいた餅のように感じる。これはこれでいいのかもしれない。もう少し世の中をみて、頑張ってください。
- ・田名場委員・・・数値目標は、少子高齢化も考えた数字ではないかと思う。こころの健康の指標として、自殺者数がある。花巻市は、人口10万対で30なかばだったと思う。
事務局・・・こころの健康の指標は、保健福祉総合計画ではなく、アクションプランに反映させる。

(2) 健康はなまき 21 プランの素案について 阿部課長補佐説明

質問・意見はつぎのとおり

- ・平賀委員・・・40～50年前より、食事について取り組んでいる。歴史は浅いが、運動にも取り組んでいるところなので、食事、運動の関係団体名に婦人団体協議会も是非入れて欲しい。
- ・高橋委員・・・3.11の大震災の放射線の関係で、これぐらいであれば安全という基準があれば安心できると思うが。
事務局・・・放射線の安全基準は、国でもきちんと定まっているわけでない。市の防災計画になる。危機管理の担当は震災対策室で、放射線の測定等も実施している。
- ・佛川委員・・・花巻は雑穀の生産日本一であり、市でも力を入れて取り組んでいることと思う。食事の分野に雑穀を取り入れることを考えてもらいたい。
- ・菅原委員・・・市の取り組みで、健康教室、健康講座とあるが、場所は保健センターで行うということか。
事務局・・・すべて保健センターで行うということではなく、27の振興センター単位や公民館などあらゆる団体から要望があればこたえていきたい。
- ・平賀委員・・・市民一人ひとりの取り組みのところが重要で、これが強調できればよいと思う。

5 その他

今後の予定について 上田健康づくり課長説明。

保健福祉総合計画策定委員会は11月7日開催予定である。12月にパブリックコメントにより意見を募集し、意見を反映させた計画とする。

健康づくり推進協議会は、必要であれば開催するが、現予定では、パブリックコメントの後（12月以降）に会議を開催し、21プランについて協議を行う予定である。

6 閉会

上田健康づくり課長

7 傍聴人数

0名